



平成30年12月6日(木)午後2時、東部公民館に大笑いの福祉使・「楽語家」の交遊亭楽笑さんを迎え14回目の人権落語講演会を開催。

テーマは「認め合い、声かけ合って明るい未来へ」～いつもここに逢い・ラブ・遊～です。当日は寒さ厳しい中100名近くの方が参加されました。

交遊亭楽笑さんは63才、50才まで高槻市役所の障がい者福祉課に勤務。在職中に市内の小・中・高生を対象に自治会で「障がい者の福祉制度」の講演を年100回以上開催、しゃべって人を楽しませる天性の持ち主です。

昭和23年12月10日国連で「世界人権宣言」が採択されてから、平成30年で70周年。宣言条文の第2章に「すべての人に差別なく権利がある」とあります。その精神を根底にわかりやすい講演でした。つながりへの合い言葉「逢い・ラブ・遊」「みなさんご一緒に」「どうぞ、どうぞ、おこしや

す」みんなが生き活き暮らせる地域づくりに参画しましょう。また男性と女性が協力して共働・共生社会へ等「福祉とはふだんのくらしをしあわせに」「虐待・いじめ・差別をしない・させない・ゆるさない」と参加者と質疑応答で当たれば歓声と拍手の渦。またこんな事例も学びました。

東京の山手線に紙がはってあった。「ちかんはりっぱな犯罪です」大阪の環状線には「ちかん・あかん・ライオンあぶないかみますよ」とありました。地域によって格差がありますが一人でも多くの意識がたかまることが大切です。と結ばれました。

90分の講演も館内は終止笑顔満開と歓声で春の陽気でした。

最後に全員が手話で「翼をください」を合唱。参加者は「良かった、勉強になった、おもしろかった」との喜びの声、楽しい有意義な一時でした。〈取材：鷹森 由紀子〉

国政と伊賀の伝統文化を残した、川崎克の町



川崎 克氏

郷里では、伊賀上野城（昭和10年）を私財を投じて再建した。そして松尾芭蕉生誕300年を記念し、同じく私財を投じて俳聖殿（昭和17年）が竣工された。

川崎 克氏は、三重県伊賀上野（現・伊賀市）出身。生家は油屋である。1896年（明治31年）に政治家を志して同じ郷土三重県出身の尾崎行雄氏（国会議員）を頼って上京した。衆議院議員連続10回当選。



伊賀上野城



俳聖殿

上野天神祭の先頭を切る子ども樽神輿



子ども樽神輿



天神祭の本祭、東の御旅所から神輿、鬼、だんじりのお渡りの先頭を切って、児童福祉会による子ども樽神輿が出発します。現在は小中学生男女が参加し、気合いをいれ要所要所では神輿を上下左右に暴れまわっています。

各部会活動の活発な町

体育部はボウリング、グランドゴルフ大会等年3回の事業を行っています。運動サークルはグランドゴルフ、ゲートボール、卓球があり、年間を通じて練習をしております。昨年は市民スポーツフェスティバル卓球団で優勝しました。

児童福祉会は子ども会卓球大会に参加しており、優勝3名を含む5名が入賞しました。

民生児童委員は、いきいきサロンを毎月実施しており1月は世代間交流会（もちつき）を町内の100名近くが集まり楽しんでいます。

自治会では、8月末に盆踊りをお旅所で一昨年から行っており、今年は実施予定です。（隔年に開催）



盆おどり大会



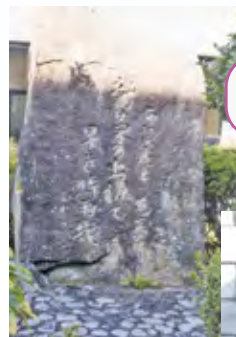
児童福祉会
卓球の練習



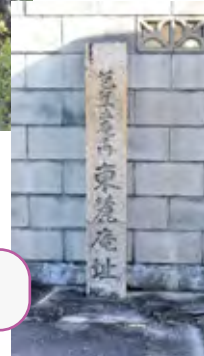
世代間交流会

芭蕉庵 2庵町内に

町内に西麓庵、東麓庵の芭蕉句碑があり、芭蕉5庵のうち、2庵存在していました。



西麓庵
芭蕉句碑



東麓庵
址の碑

（寄稿：上野車坂町自治会長 町野 公一）



子ども会シリーズ ⑩

緑ヶ丘南町児童福祉会

福祉会のイベントから地域交流へ

緑ヶ丘南町児童福祉会は、地域の小学生約40名が加入していますが、少子高齢化が進むなか、会員児童は減少傾向にあります。そこで、今年度はいちご狩りや関西空港のバックヤードツアーなど、少人数でも楽しめる行事を新たに実施しました。

また、地域のサロンを利用する高齢者と一緒に、世代間交流として、さつま芋の苗植えや収穫、クリスマス会を実施しました。

世代間交流 クリスマス会



さつま芋苗植え



緑ヶ丘南町児童福祉会 人気行事ベスト3

★いちご狩り★



★芋ほり★



★アイススケート★



行事には会員児童の保護者の参加も多く、事実上は3世代での交流となり、地域の活性化の一助となっています。

行事に参加する子どもたちは、本当に素直で、「これ来年もやりたい!」と楽しんでおり、「この歌もう古いよ〜!」とアドバイスをしてくれます。高学年の子が自然に年下の子の面倒を見たり、時には注意したり、ハッとするような成長に気づかされます。

今後も「みんなで楽しむ!」をモットーに、子ども同士、親同士から地域とのつながりを大切に、活動していきたいと思います。

(寄稿: 緑ヶ丘南町 児童福祉会会長 奥井 公子)

東部地域住民の生命と財産を守る消防団

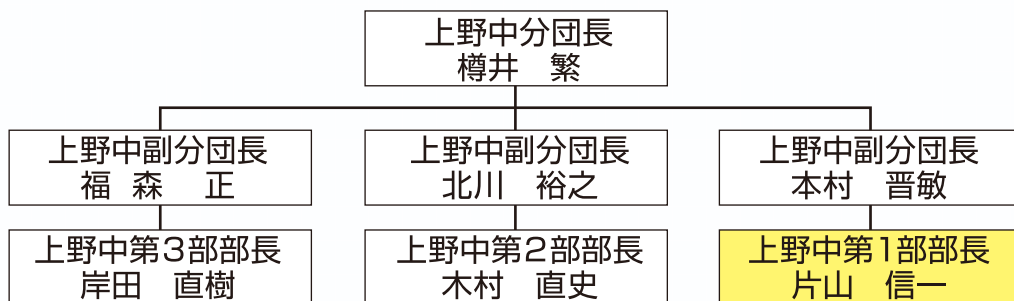
上野中分団第一部

私たちが日ごろ、火災や災害から身を守り、安心して暮らしていけるために、消防団員が活動していただいています。上野中第一部部長 片山 信一さんに消防団組織、活動内容、活動を通じて良かったこと、苦労話、入団へのPR等お聞きしましたので紹介致します。

1.消防団の組織



上野中第1部 部長
片山 信一



(平成31年3月現在)



は東部地域の消防団です。

第1部…車坂町、田端町、玄蕃町、赤坂町、農人町、北平野、伊予町、寺町、城北
緑ヶ丘東町、緑ヶ丘本町、緑ヶ丘西町、緑ヶ丘南町、緑ヶ丘中町、服部町1丁目～3丁目

2.消防団の活動内容

夜警（毎月15日）	春秋の防災週間パトロール
放水訓練（毎月中旬の日曜日）	各種団体の救命講習の講師
出初式（1月）	操法大会への練習、出場
夏期訓練（7月）	火災発生時の消火
防災訓練応援（10月）	台風接近時のパトロール
年末夜警（12/28～30）	伊賀市花火大会の警備

等東部地域住民自治協議会と連絡を密にして活動しています。



3.消防団活動を通じて思ったこと、感じたこと

・良かったこと

地域に貢献でき、地域の方々に感謝されています。活動を通じて知人友人が増え、様々な技術（AEDの操作方法、心肺蘇生等）を習得し実生活で活かすことができている。団員の一人一人が自分にできることならとの思いで、消防活動に取り組んでいる姿を見て、本当に素晴らしい活動だなあと感じています。

・辛かったこと、苦労したこと

火災の時は、放水で濡れるし、夜通し現場にいないければなりません、仕事もあるので体力的にしんどい時があります。各種行事の際は早朝の集合であったり、真夏真冬に厳しい訓練があります。活動には家族の理解が必要です。また最近の異常気象の台風上陸で、特別警戒で長時間の待機があり、深夜に及ぶ管内のパトロールにあたったこと等です。

4.消防団から地域の皆さんへのお願い

近年の異常気象の中、地域に根差した我々消防団に求められている使命はより深く、強く感じます。しかし消防活動へのアピール、理解度が少なく、共感が得られていないのが実情です。団員は職業、職種も異なる仲間が集まっています。他の地区の消防団員との出会い、地域の方々との出会い、様々な出会いがあることも魅力です。自分たちの町は自分たちで守るのと思い一人で多くの方に理解していただき、一緒に楽しく、地域防災のために取り組んで頂ける方を心よりお待ちしております。

「大切な人、大切な自分の町を守るのはあなたです」

(寄稿:上野中第1部部長 片山 信一)

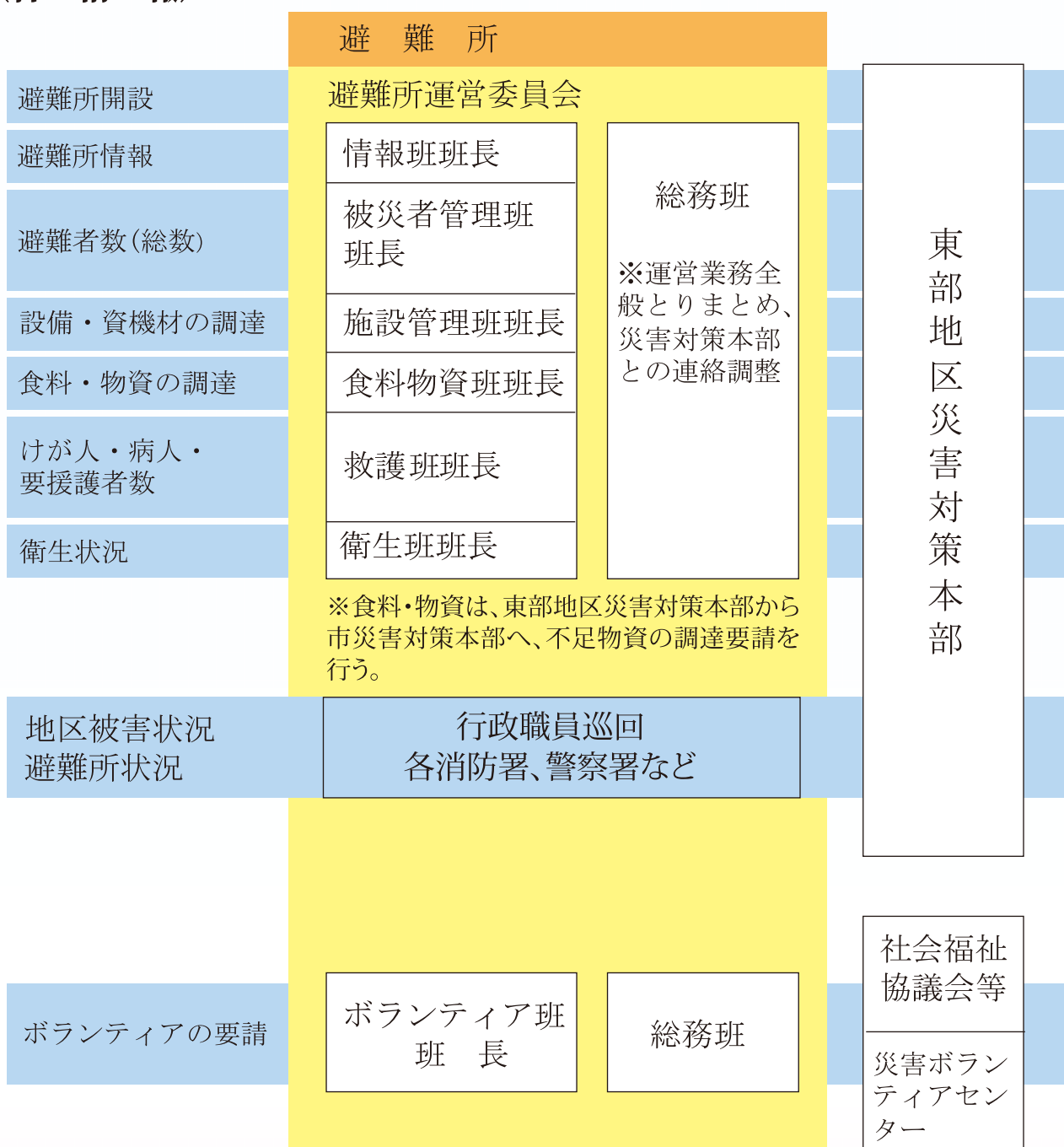


避難所マニュアルについて ⑥

災害が大規模になれば、市内全域になるためこの状況から生きのびるためには、自らもしくは地域の力により回避するしかありません。広報35号（東部だより）から避難所マニュアルの重要なところを掲載しています。第1回は各自治会別災害時の避難場所、第2回は避難所開設・基本方針について、第3回は災害発生～避難所開設・運営・徹収の流れについて、第4回は災害発生～開設までの流れについて、第5回は災害発生から開設までの役割による人の流れについて、今回は避難所開設～運営の情報伝達のしくみについて掲載します。掲載内容に目を通していただくとともに住民の一人一人が自助・共助が如何に大切であるか再認識し「住むまちを地域で守る」という防災意識の高まることを願っております。

避難所開設～運営の情報伝達の仕組み

〈各 情 報〉



「春の戦い」



毎年のことですが、... 大変です。



おはな- 女
へくし
お-い か-い 痛
鼻水の出ない
すてきな春を迎えられますように。
いとわめ

6